

東京大学の目指す 地域連携

日時
2022年10月3日[月]
15:00-17:30

会場
オンライン配信 Zoomウェビナー
東京大学 理学部小柴ホール(本郷地区キャンパス内)より

プログラム 司会: 峰岸 有紀 東京大学大気海洋研究所 准教授

開会挨拶

津田 敦 東京大学執行役・副学長 / 社会連携本部長

講演1「人生100年時代 -地域と一緒に創り出す健康長寿・幸福長寿-」

飯島 勝矢 東京大学 高齢社会総合研究機構 機構長 / 未来ビジョン研究センター 教授

講演2「学生の実践活動 -フィールドスタディ型政策協働プログラムについて-」

江頭 正人 東京大学 大学院医学系研究科附属 医学教育国際研究センター 教授

講演3「地域社会課題解決のハブ機能」

牧原 出 東京大学 先端科学技術研究センター 教授

トークセッション「東京大学の目指す地域連携とは何か」

モデレーター 丹下 健 東京大学 副学長 / 社会連携本部副本部長

地下 誠二 株式会社日本政策投資銀行 代表取締役社長

灰谷 貴光 石川県能登町 ふるさと振興課地域戦略推進室 主幹

長谷部 健 渋谷区長

牧 寿夫 富士見市フレイルサポーター連絡会 会長 (50音順)

坂田 一郎 東京大学 地域未来社会連携研究機構 機構長 / 工学系研究科 教授

飯島 勝矢、江頭 正人、津田 敦、牧原 出

閉会挨拶

丹下 健

お問合せ先 東京大学社会連携推進課

E-mail: shakairenkeika.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

主催 東京大学 社会連携本部、未来社会協創推進本部 社会連携分科会

東京大学では、全学や部局による社会貢献活動として多くの地域連携事業が行われています。藤井輝夫総長の下で掲げられた東京大学が目指すべき理念や方向性をめぐる基本方針を示したUTokyo Compassでは、具体的な行動計画として社会との協創を掲げ、地球環境・包摂性に配慮した新たな価値創造を地域と連携して目指すこととしています。

この目標達成のため、未来社会協創推進本部(FSI)の社会連携分科会の下に地域連携タスクフォースが設置されました。

本シンポジウムは、現在、全学や部局で展開している事業間の情報共有の場を設け、同様な課題を有する地域で行われている事業の連携を促進することを目的として開催いたします。

講演概要

講演1

人生100年時代 -地域と一緒に創り出す健康長寿・幸福長寿-

最長寿命・日本において、健康長寿と同時に「幸福長寿」も実現しなければなりません。現在、フレイル予防を軸とした住民主体の健康長寿まちづくり構想を全国に推進しております。現在全国92自治体で、地域高齢住民フレイルサポーターが主体となりフレイルチェックを実施し、高齢住民同士で気づき合い、行動変容してくれております。

講演2

学生の実践活動 -フィールドスタディ型政策協働プログラムについて-

社会が転換期にある今、関係者と協働しながら政策を立案・実行できる人材の育成が求められています。本学では、2017年から「フィールドスタディ型政策協働プログラム」を開始しました。現地に出掛け、人々の声を聞き、具体的なニーズを発掘、仲間と討議熟考した上で、課題解決の道筋を地域の皆さんに提案、というプロセスにより構成されます。6年目を迎える本プログラムにおける取組みと今後の展望について紹介します。

講演3

地域社会課題解決のハブ機能

先端科学技術研究センターは、2018年に全所的な地域連携のハブとして、地域共創リビングラボを立ち上げました。そこを拠点にこれまで国内外20数自治体と「包括連携協定」を結び、若手研究者を含めて多様な研究領域から地域連携を進める環境を整えています。本講演では、本学の目指す実験的な地域連携の可能性を論じてみたいと思います。

登壇者プロフィール

講演1「人生100年時代 -地域と一緒に創り出す健康長寿・幸福長寿-」

飯島 勝矢 いいじまかつや

東京大学 高齢社会総合研究機構 機構長 / 未来ビジョン研究センター 教授



老年医学・高齢者医療を専門にする医師であり、さらに総合老年学（ジェロントロジー）も推し進めている。特に、フレイル予防を軸とする健康長寿実現に向けた高齢社会対応の総合まちづくり研究と地域実装（全国92自治体）、在宅医療介護連携による地域包括ケアシステム、高齢者就業等に取り組む。

講演2「学生の実践活動 -フィールドスタディ型政策協働プログラムについて-」

江頭 正人 えとうまさと

東京大学 大学院医学系研究科附属 医学教育国際研究センター 教授



FSIの下に設置されている体験型活動WGの座長を2021年度から務めている。WGの中で、学部学生及び大学院学生を対象とし、地域における課題について地域の多様な関係者と協働しながら課題解決を目指すことにより、社会的課題に果敢にチャレンジできるリーダー人材を育成することを目的とした教育プログラム、「フィールドスタディ型政策協働プログラム」を統括している。

講演3「地域社会課題解決のハブ機能」

牧原 出 まきはらいづる

東京大学 先端科学技術研究センター 教授



専門は政治学・行政学。地方自治研究として、自治体実務に即した制度改革と政策研究を行っており、現在、内閣府の地方制度調査会委員を務めている。先端科学技術研究センターでは2018年に地域共創リビングラボの立ち上げに携わり、センターの多様なラボが関わる全国の自治体との連携を深める実験的試みを続けている。

開会挨拶

津田 敦 つだあつし

東京大学 執行役員・副学長 / 社会連携本部長



閉会挨拶

丹下 健 たんげたくし

東京大学 副学長 / 社会連携本部副本部長



司会 峰岸 有紀 みねざし ゆき

東京大学 大気海洋研究所 准教授



専門は分子生態学。岩手県大槌町をフィールドに海洋生物の生態研究を行う一方、所属する大気海洋研究所国際・地域連携研究センター大槌研究拠点で、同研究所と社会科学研究所の地域連携プロジェクト「海と希望の学校 in 三陸」を三陸沿岸を中心に展開している。

トークセッション「東京大学の目指す地域連携とは何か」

地域連携活動を継続していく上での課題や多くの住民を巻き込むための工夫など、各々の立場・視点から語っていただきます。

地下 誠二 じげせいじ

株式会社日本政策投資銀行 代表取締役社長



2022年6月に代表取締役社長に就任。最重要課題の一つに「地方創生」を掲げる。地域における人口減少・少子化対策の重要性を提唱し、地域活性化のための取組みとして、地方の脱炭素化や新規事業創出の支援に注力する考えを示している。

灰谷 貴光 はいやたかみつ

石川県能登町 ふるさと振興課地域戦略推進室 主幹



2015年から地方創生担当となり、町民と町外の学生、プロボノや企業が対話を通して地域課題を解決する場づくりに取り組む。2017年からフィールドスタディ型政策協働プログラムの受入れを開始。現在、6期生と関係人口創出に向けた活動を行っている。

長谷部 健 はせべけん

渋谷区長



1972年、渋谷区神宮前生まれ。株式会社博報堂退社後、ゴミ問題に関するNPO法人green birdを設立。原宿・表参道から始まり全国60ヶ所以上でゴミのポイ捨てに関するプロモーション活動を実施。2003年に渋谷区議会議員に初当選、3期12年を務める。2015年、渋谷区長選挙に無所属で立候補し、当選。現在2期目。

牧寿夫 まきとしお

富士見市フレイルサポーター連絡会会長



健康提案型企業に従事。「健康運動指導士」の資格取得、適正体重維持のための施設運営に関わる。高齢者向けの運動指導に特に関心を持ち、市のご当地健康体操・ノルディックウォーキング等の講師を担当。また、独自に健康体操を開発し地域で実践している。東大開発の「フレイルチェック」の試みを知り、フレイルサポーターとしてこれまでの経験を地域の高齢者に還元しようとして取り組んでいる。

坂田 一郎 さかたいちろう

東京大学 地域未来社会連携研究機構 機構長 / 工学系研究科 教授



被災地と協力しつつ復興庁参与として東日本大震災からの復興ビジョン「新しい東北」の策定に従事。また、先進的な地方自治体との協力により地域経済分析システム（RESAS）の開発と普及に取り組んだ。現在は、国土審議会特別委員として新しい国土形成計画の策定に携わりつつ、北陸圏の広域地方計画の懇談会に参加している。

視聴方法

ご視聴には事前に申込が必要です。右記QRコードよりお申込ください。お申込が完了すると、ご登録のメールアドレスにご案内メールが届きます。

